

2016年8月16日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部

実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-29)
「女子大生のペット事情」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「ペット事情」についてのアンケート調査（実践『ペルソナ』通信（No.29））の結果をもとに、実践女子大生の飼っているペットと費用の使い道について、調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

調査結果

1. ペットの種類

【三毛猫】



【シュナウザーとシーズーのミックス】



【トイプードル】



【アメリカンショートヘアー】



【デグー】



【ミックス】



【ミニチュアダックスフンド】



【トイプードルとチワワ】



2. ペットのおもちゃ

【くまのおもちゃ】



【おもちゃの骨】



3. ペットの食事

【ドッグフード】



【犬のおやつ】



【キャットフード】



【キャットフード】



4. ペットの薬

【虫よけの薬】



【感染症予防の薬】



飼っているペットの種類は、やはり犬や猫が多いものの、回答にはウサギやカメ・テグーなども見られた。またペットを飼っている全員が実家で飼っていると回答していることから、一人暮らしでペットを飼うのは金銭面や世話する時間を考慮すると、難しいのではないかと考えられる。全体的にみると、ペットにかかる1ヶ月の費用は5,000円～20,000円に集中しており、その中からエサ代・おやつ・おもちゃ・薬など生活に必要なものを揃えていることが分かった。猫のエサは魚ベースであり、高級感があった。薬は、虫が媒介する動物特有の感染症を予防するものであった。

調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 阿部杏子

3年 内田成美

3年 鈴木奈々子

3年 富川未夢

3年 橋本真希